

D.WESTERN THERAPEUTICS INSTI

個人投資家向けIRセミナー

2026年10月7日

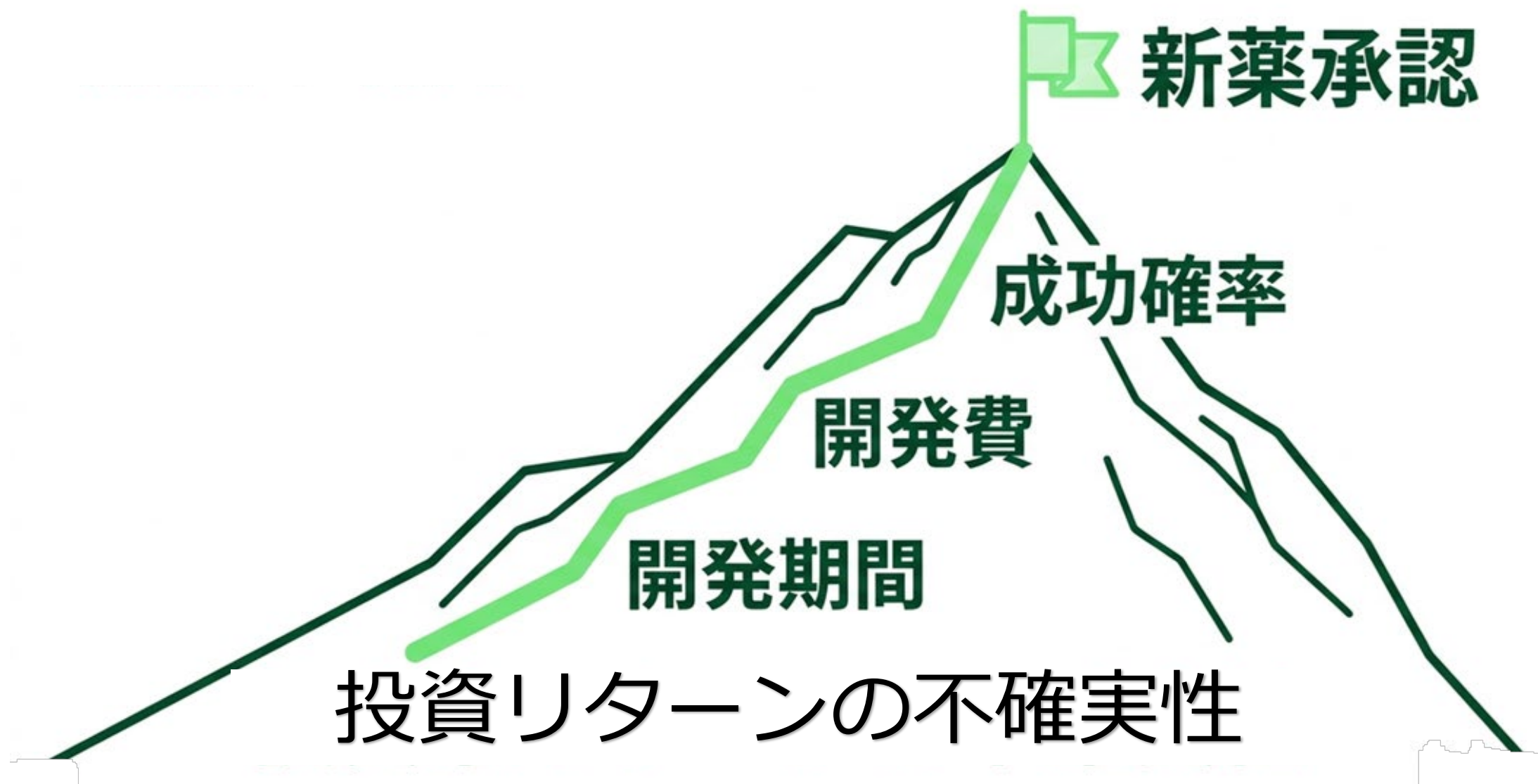
株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

証券コード：4576

D. Western Therapeutics Institute

DWTI

創薬の現実





DWTI（デューティー）の概要

日本発の画期的な新薬を世界へ

上 場 市 場

東京証券取引所グロース市場
(証券コード：4576)

事 業 分 野

医薬品の創薬研究開発

設 立

1999年2月

資 本 金

850百万円

役 職 員 数

28名（連結）

事 業 拠 点

- 本社：愛知県名古屋市
- 研究所：三重県津市
(三重大学に産学官連携講座
「臨床創薬研究学講座」設置)

連結子会社

日本革新創薬株式会社
(略称：JIT)

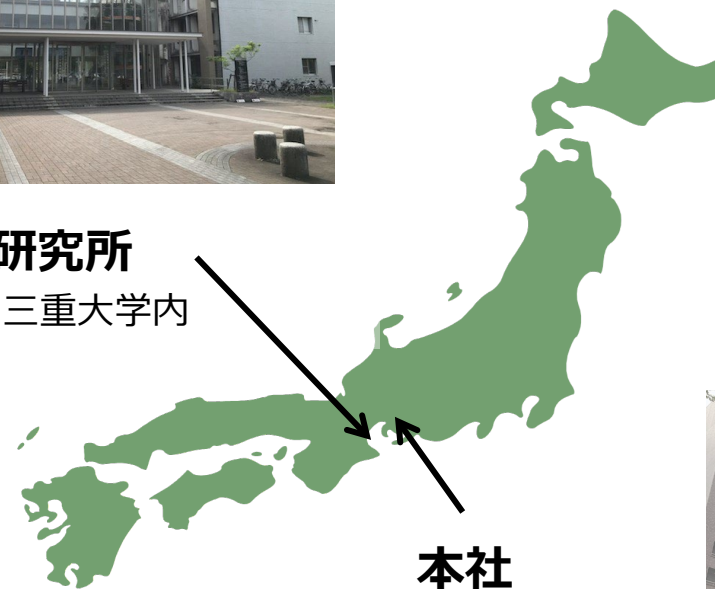


2026年9月末日現在



開発研究所

三重大学内



本社

名古屋市



小規模でコンパクトな組織体制

経営陣



代表取締役社長
日高 有一

創業家
元三菱UFJ銀行

企業経営

研究開発

財務・会計

資金調達

法律・リスク



取締役
松原 さや子

元経営共創基盤
元花王 コーポレート
戦略部 ディレクター

企業経営

財務・会計

資金調達



監査等委員（社外）
山田 富士雄

元エディオン執行役
員、常勤監査役

企業経営

財務・会計

法律・リスク



監査等委員（社外）
中村 栄作

元丸紅
元バイオ・サイト・
キャピタル

企業経営

研究開発

資金調達

グローバル



監査等委員
中村 和史

元参天製薬
Mitsui & Co. Global
Investment（三井
物産 100%子会社）

企業経営

研究開発

グローバル



監査等委員（社外）
都築伸弥

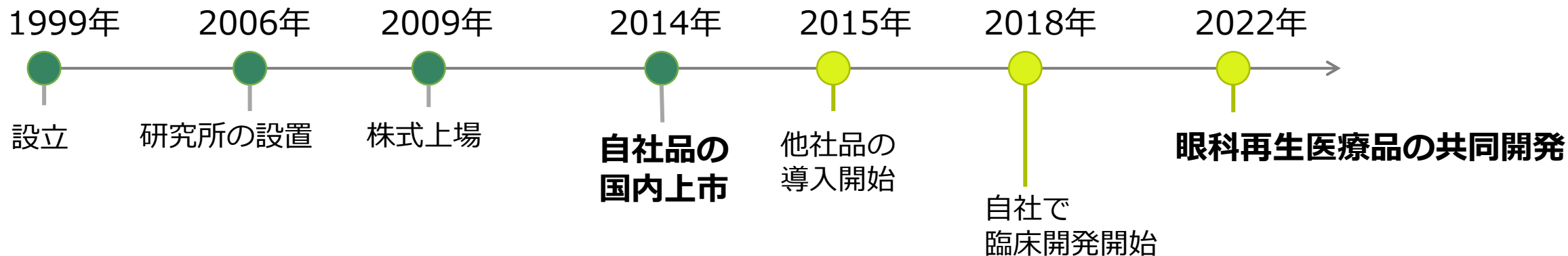
元みずほ証券 アナ
リスト
ネクセラファーマ
IR部長

企業経営

研究開発

資金調達

沿革・実績



創薬への思い



創業者：日高 弘義

研究者仲間 本庶佑先生

(ノーベル医学生理学賞受賞、当社科学顧問)

『創薬は一生に一度の科学』

- 社会貢献への意欲
- 細胞内シグナル伝達系の研究
- 3つの上市薬の発明実績
- 論文引用数 日本科学文献中4位 (3,000回以上)
- 当社の創薬エンジンの確立

創薬の実績



上市品の使用本数

2,000万本超

※当社推計

価値を最大化するビジネスモデル



Step 1 : 創薬・開発 (DWTI)

自社で「創り・育てる」研究開発



Step 2 : 導出 (バトンパス)

製薬企業へのライセンスアウト



Step 3 : 販売 (製薬企業)

製薬企業の販売網を活用し、ロイヤリティを得る

ロイヤリティ収入を次の研究開発へ再投資

「価値最大化」のポイント 累計実績：柔軟なExit



自社開発1件



共同開発2件



導入2件



導出5件



上市4製品

キナーゼ阻害剤を眼科へ展開してきたパイオニア

キナーゼ阻害剤とは

細胞の働きを調節する「スイッチ」役の酵素（キナーゼ）を狙い、病気に関わるシグナルを抑える薬

幅広い疾患領域で活用

がん

免疫

炎症

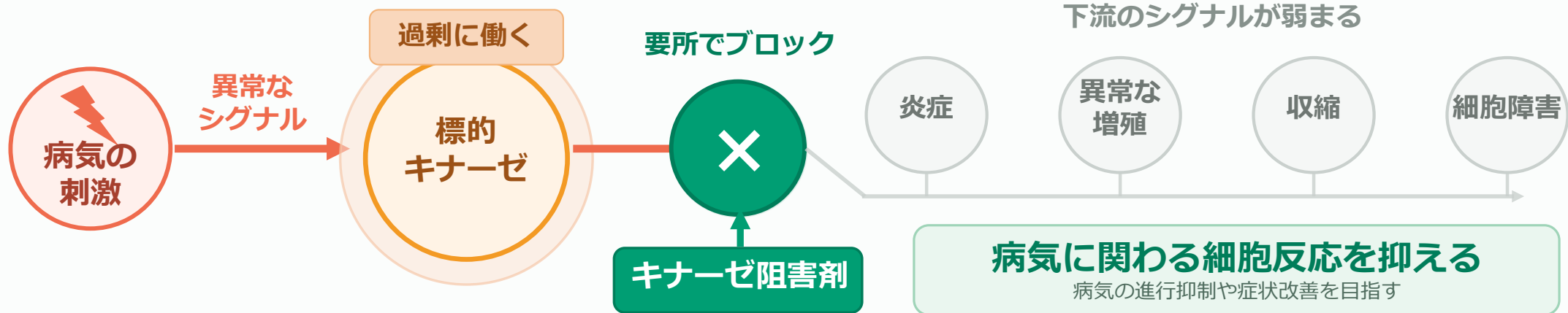
神経

眼

世界市場

約 200 億ドル／年

病気を動かすシグナルの「要所」を狙う



創薬基盤

3つの技術を組み合わせて、効率的にキナーゼ阻害剤を創製

1

化合物ライブラリー
新薬の「種」を蓄える

+

2

ドラッグデザイン
候補を「磨き上げる」

+

3

ドラッグ・ウエスタン法
効く仕組みを「見極める」

特徴①：眼科に注力



✓ フェーズ3の成功確率
眼：**76%** > 全身：60%
緑内障：**90%**

✓ 緑内障
日本の視覚障害第1位

✓ 角膜内皮疾患
再生しない角膜細胞

の開発候補品が充実

特徴②：充実した開発後期パイプライン

✓ Phase 3以降：4本

✓ Phase 2終了：2本

	開発品名	対象疾患	地域	P1	P2	P3	申請	承認	上市	パートナー
★	H-1337	緑内障	 							日本他オプション SENJU
	DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛								(共同開発) MEDRx
★	DWR-2206	水疱性角膜症	 							(共同開発) ActualEyes
	K-321	フックス角膜内皮変性症	 							Kowa
	DW-1002	眼科手術補助剤（染色）								DORC
										 わかもと製薬株式会社

 …… 眼科疾患のパイプライン

我々のチャレンジ

1 中核パイプラインの上市

日本での
上市 

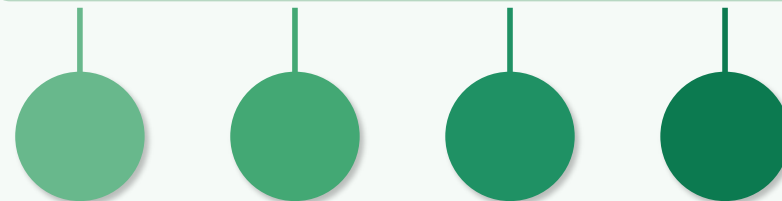
H-1337

最重要マイルストーン

2 ポートフォリオ型ベンチャー

複数のパイプラインで
事業基盤の安定性を確保

事業基盤の安定性



複数の成長機会

中核パイプラインの成功による飛躍的な成長と、複数パイプラインによる安定成長を両輪に

チャレンジによるゴール

**H-1337の
ブロックバスター化**

毎年 1 剤の上市

安定した資金調達

持続的な成長を支える
財務基盤



創薬への情熱

新たな価値を生み出す
研究開発力



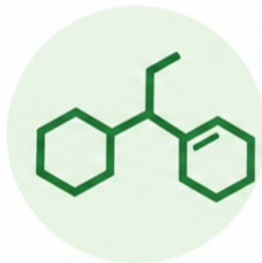
緑内障治療剤 H-1337

- ✓ 眼圧上昇により視野が狭くなる病気
- ✓ 日本の失明原因**第1位**
- ✓ 40歳以上の20人に1人が発症、
60%弱が自覚症状なし



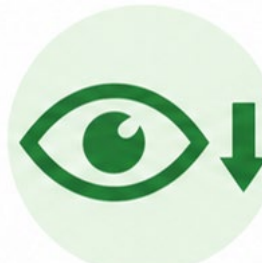
※日本眼科医会, <https://www.gankaikai.or.jp/info/detail/glaucoma.html>, 緑内障ってどんな病気？

【特徴】



マルチキナーゼ阻害剤

低分子の自社創薬（強み）



高い眼圧下降効果

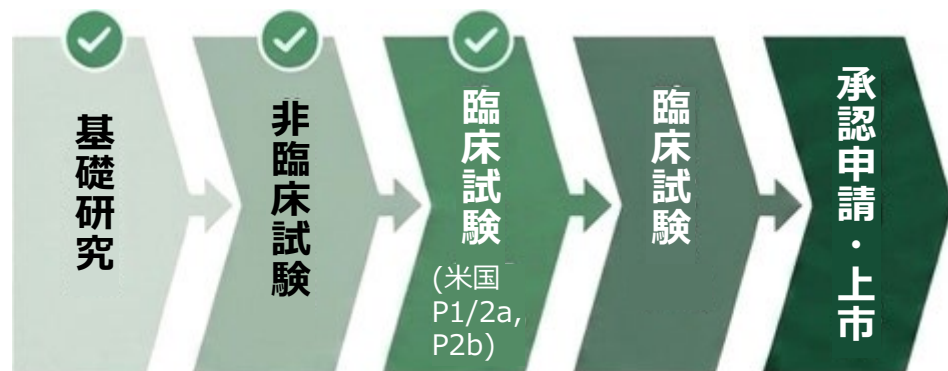
既存治療で効果不十分な患者様に



1日1回の点眼

効果と使いやすさの両立

H-1337の進捗状況、市場と競合



2026/3/25 千寿製薬と

SENJU

- ・オプション契約締結（日本・アジア他）
- ・約2億円の出資受け入れ、開発費に充当

日本開発を先行する方針へ

➡ 2029年 P3試験開始を計画

市場

全世界
6,500億円 ※1

日本
885億円 ※2

※1 当社調べ
※2 厚生労働省「第10回NDBオープンデータ」を基に
当社算出

日本推定患者数
約**400**万人

※政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>) の2024年人口推計を基に、有病率
5%を乗じて当社算出

第二選択薬の
ファーストチョイス

日本市場の薬剤別シェア

PG剤 **42%** ※2

α2/CAI、ROCK、βブロッカー/CAI等

競合薬

Netarsudil

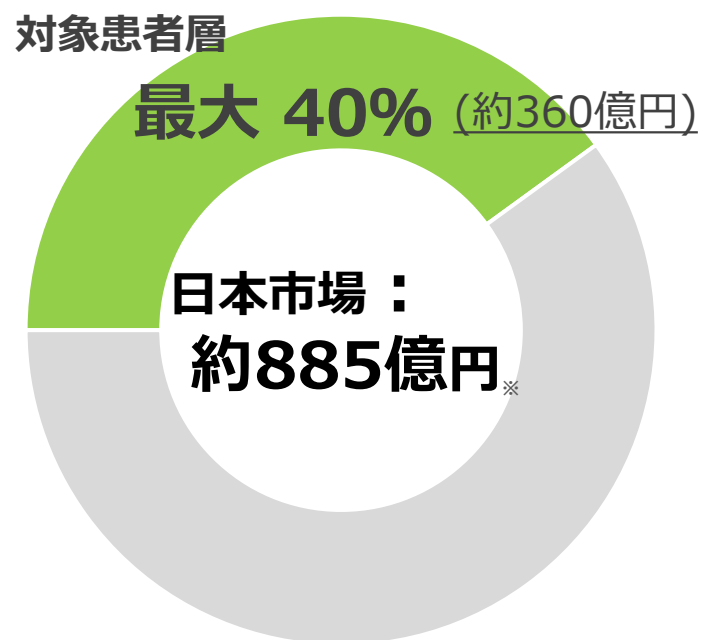
- ・米国：上市/Alcon
- ・欧州,アジア：上市/Santen
- ・日本：上市/Santen

グラナテック

日本市場と収益ポテンシャル

想定シェア（ピーク時）別のイメージ

日本市場に 占める割合	製品売上	目標と参考値	期待ロイヤリティ (当社収入)
20%	約180億円	◀ グラナテック, グラアルファの 承認時ピーク売上高合計	大きく貢献 目標：25億円/年
10%	約90億円	◀ グラナテックの 承認時ピーク売上高	さらに拡大 15億円/年
7.5%	約68億円		拡大 10億円/年
5%	約45億円	◀ 初期の浸透イメージ ◀ ネタルスジル（競合薬）	発生 7億円/年



※ 厚生労働省「第10回NDBオープンデータ」を基に当社算出

H-1337の成長ポテンシャル

国内単剤市場の価値を起点に、配合剤・海外展開が中長期的なアップサイドとなる

現在の価値の起点

将来のアップサイド

Base

日本市場

H-1337単剤



価値の起点

- 米国データを活用し後期開発からスタート
- 日本での開発期間短縮
- P1/P2相当の国内試験費用を抑制

Option 1

配合剤



- 患者利便性の向上
- 国内獲得シェアの拡大
- オプション行使後の開発費はパートナー負担

国内単剤の次の価値創出

Option 2

海外展開



- 米国開発・導出機会
- アジア・欧州での展開余地
- 新たなロイヤリティ機会

グローバルアップサイド

日本単剤



配合剤



海外展開

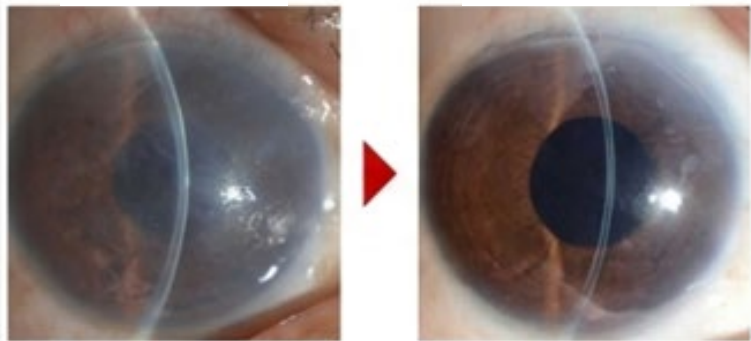


価値最大化

再生医療用細胞製品 DWR-2206

治療前

治療後



出典: Kinoshita S., Kolzumi N, et al. N Engl J Med. 2018

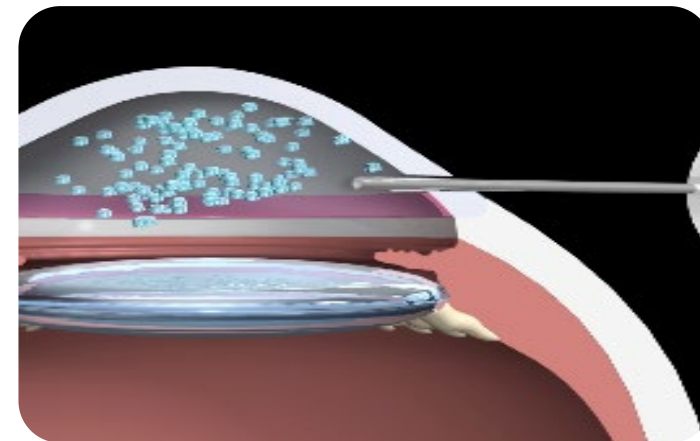
水疱性角膜症の克服

臨床研究の成功：
驚異の回復/矯正視力
0.05→1.0へ



独自の細胞製剤

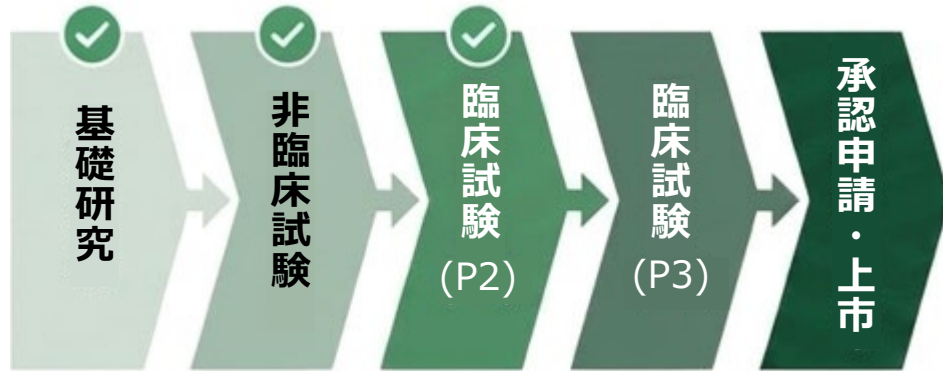
凍結角膜内皮細胞/
高い品質と安定性



注射する簡便な処置

前房内に注入、
角膜内皮細胞を再生

DWR-2206の進捗状況、市場と競合



日本（共同開発： ActualEyes）

- ・ P3試験の準備中

中国（アクチュアライズの導出先：）

- ・ 当局相談実施、早期の治験開始を目指す

高い薬価への期待

主要な競合品 **ビズノバ**

薬価	約950万円
市場予測 ：ピーク6年目	・ 当医療機器使用患者数：160人 ・ 予測販売額：約15億円
特徴	・ 2～8℃（遮光）保管 ・ 27時間まで安定保存可能

患者数

- ・ 日本：水疱性角膜症 7,000～10,000人
- ・ 中国：角膜内皮障害100万人以上



ドナー不足の解消へ

開発パイプラインの進捗計画 毎年1製品の上市

パイプラインの名称等		地域	2025	2026	2027	2028
H-1337	緑内障治療剤				小規模用量確認試験	2029～ P3開始
H-1129	免疫異常を基盤とする 角結膜疾患				臨床試験	
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛		再申請 承認		上市	
DWR-2206	水疱性角膜症		P 2		P 3	
				臨床試験		
K-321	フックス角膜内皮 変性症	 	P 3		申請	承認 上市
DW-1002	内境界膜染色 水晶体前囊染色			申請	承認 上市	
	内境界膜及び網膜上膜 染色			申請	承認 上市	

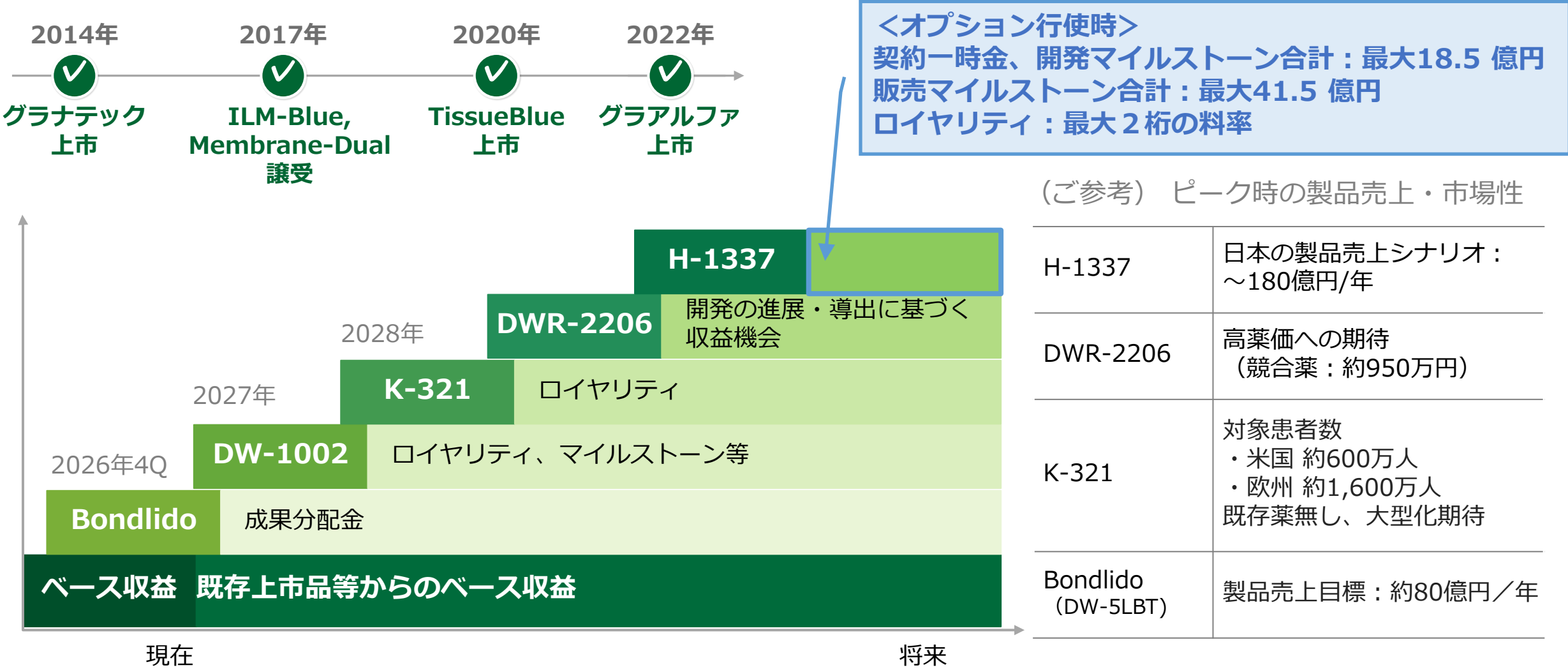
※上記計画は、ライセンスアウト先が想定する開発計画もしくは当社予想に基づく開発計画であり、実際の開発進捗と相違する可能性があります。

※DW-1001（眼科用治療剤）は、ライセンスアウト先のロート製薬の方針により、今後の開発計画を検討中のため記載しておりません。

※ H-1337の米国は、P2b試験まで終了し良好な結果を得ていますが、日本の開発を優先いたします。

成長戦略

これまでの上市・市場展開で築いた収益基盤に、2026年以降の新たな収益機会を積み上げ



今後注目してほしいポイント

何が企業価値をあげるのか（株価を動かすのか）

1

神経疼痛治療薬 Bondlido 米国販売



2026年第4四
半期上市計画

2

フックス角膜内皮変性症 K-321 P3試験の結果

グローバル販売・
収入拡大

3

緑内障治療剤 H-1337 日本の臨床試験の開始

自社開発

IRメール配信登録、カバレッジレポートのご案内

- ✓ プレスリリースや決算発表等の情報をタイムリーにお知らせいたします。



- ✓ ENVALITHにより決算発表／決算説明会直後に速報レポートを発信。
独立した視点で客観的かつ中立的な調査・分析を行っています。

ENVALITH

<https://envalith.com/ja/companies/4576>





「日本発の画期的な新薬を世界へ」

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE